

特報No.5 のプラム第6回定期散布(散布量)の内容に誤りがありました。散布前に確認をお願いします。

散布量 **SS** : 400ℓ (誤) → 500ℓ (正)、 **動噴** : 500ℓ (誤) → 600ℓ (正)

お詫びして訂正いたします。

生育は平年並みに推移し、結実が判明してきました。園内の状況を確認し、摘果等の管理作業を進めて下さい。

引き続き、シンクイムシ類の重要防除時期です。初期の発生密度を抑えるため、散布間隔が開きすぎないように注意して下さい。また、ふくろみ病、シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去して下さい。

1. **プラム** 薬剤散布 (第7回)

・散布時期： 6月1日～10日頃 (第6回目の薬剤散布から約10日後)

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日	6月	日
・散布量		ℓ

展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	
	① ダーズバンドF	33g (14日前、2回)
	アーデントフロアブル	50ml (前日、3回)
	マイコシールド	50g (21日前、3回)

・対象病害虫： シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ、モモノゴマダラノメイガ、黒斑病 (かいよう病)

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

・注意事項

- ① 大石早生は、マイコシールドを除いてもよい。(収穫前使用規制に注意)
- ② シンクイムシ類の卵が果実に散見された場合、① スプラサイド水和剤1500倍(14日前、2回)を特別散布する。
- ③ 授粉樹が病害虫の発生源にならないよう、授粉樹への防除も徹底する。

2. **プルーン** 薬剤散布 (第4回)

・散布時期： 6月1日～5日 (第3回目の防除から約14日後)

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日	6月	日
・散布量		ℓ

展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	
	ベルコートフロアブル	50ml (3日前、3回)
	① モスピラン顆粒水溶剤	50g (前日、3回)

・対象病害虫：灰星病、アブラムシ類、シンクイムシ類、(ハマキムシ類)

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

※スモモヒメシンクイの発生は、昨年に比べ 7日程度 早い傾向です。

※スモモヒメシンクイ発生予察状況 5月12日 ・倭15頭 ・一本木9頭 ・草間17頭

①・・・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参下さい。次ページに、今後の管理作業を掲載しております。ご覧下さい。

【重要】 新型コロナ感染拡大防止のため、当面の間、講習会等の開催を中止いたします。ご不便をおかけしますが、時期の栽培管理資料等は特報の中で記載する予定です。詳しくは担当技術員までお問い合わせ下さい。

●着果管理について

予備摘果

園地によって、秋姫・貴陽・太陽等の結実不良が確認されております。結実良好な品種から、順次予備摘果を進めて下さい。

時 期	摘果の程度	備 考
開花～30日 *5月中旬 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香・・・最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… // 3～4割増	生理落果 少 " やや多

方法	残す果実	落とす果実
	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きのもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの (日焼け、傷果が発生する)

仕上げ摘果 (果実1個に対し15～20枚の葉数) 開花後50～60日頃に下記を目安に摘果を行う。

肥大することを想定に果実が触れ合わない程度の間隔を確保する。

◎プラム (中～長果枝) *短果枝群は中玉 (3～4芽に1果) ・大玉 (5～6芽に1果)

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
中玉果	60～70g	8～10cmに1果	大石早生、菅野中生
大玉果	80～120g	10～15cmに1果	紅りょうぜん、ソルダム、サマーエンジェル、太陽
	150g～	15cm～	貴陽、秋姫
	200g以上	18cm～	シナノパール
			受粉樹も摘果を実施する。

◎プルーン

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
小玉果	30～40g	5cmに2果	サンタス、サンプルーン、シュガー
中玉果	50～60g	10cmに3果	くらしま早生、くらしまプルーン、スタンレイ
大玉果	70～100g	10cmに1～2果	パープルアイ、グランドプライズ、プレジデント

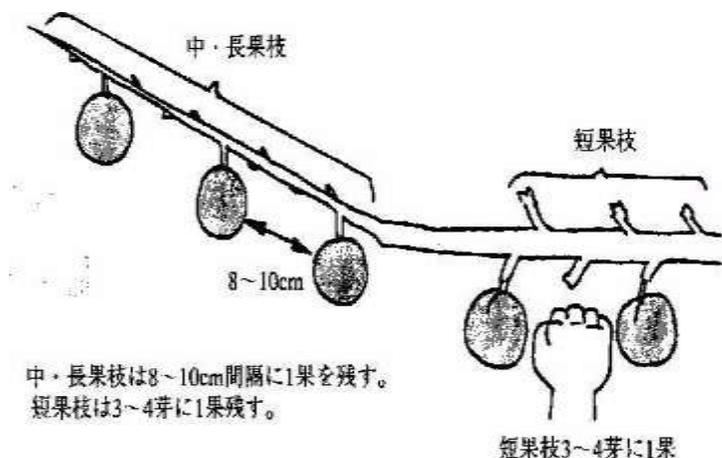


図 1 中玉品種 (大石早生など) の仕上げ摘果の目安

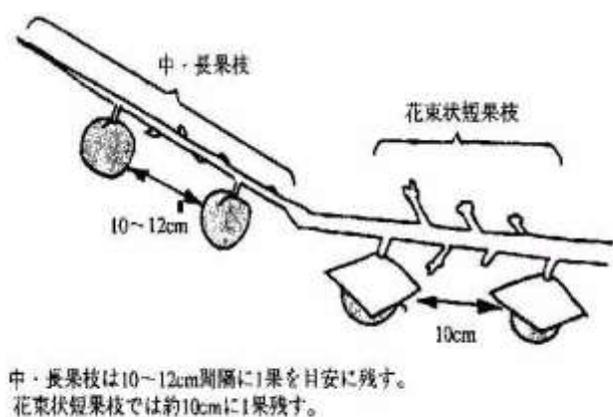


図 2 大玉品種 (サンタローザ・ソルダム・太陽など) の仕上げ摘果の目安